

全  
広  
連

二〇二一年一月八日発行／奇数月一回五日発行／通巻〇九一〇号／昭和三十九年二月十二日第3種郵便物認可  
発行／公益社団法人全日本広告連盟 〒100-0061 東京都中央区銀座七丁目四番十七号電通銀座ビル七F 電話〇三・三五六九・三五六六 [www.ad-zenkoren.org](http://www.ad-zenkoren.org)  
定価四五〇円（購読料は金費に含む）

広告の元気は、ニッポンの元気。

# 全 広 連

Special Report  
SDGsで未来を変える 地域を変える



佐賀県／SSP杯 バレーボール女子 ポイントを獲得し喜ぶ選手たち



公益社団法人  
全日本広告連盟  
JAPAN ADVERTISING FEDERATION

[www.ad-zenkoren.org](http://www.ad-zenkoren.org)

## 令和3年「年頭あいさつ」



公益社団法人 全日本広告連盟  
理事長

大平 明

明けましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大により世界的に混乱を極めた年でした。依然、国内外でコロナ禍による影響は続いており、医療、経済だけでなく様々な面での長期的な対応が必要になっております。大変厳しい状況の今だからこそ、広告界に何ができるかを考えるとともに、社会全体でこの難局に立ち向かうべきだと考えております。

夏には昨年延期となった東京オリンピック・パラリンピックが開催される予定です。コロナ対策など課題も残されておりますが、日本経済および広告界全体が活気づきかけになると信じています。

全広連では、本年も活動スローガン「広告の元気は、ニッポンの元気。」のもと、会員の皆様と共に広告コミュニケーションの力で地域から日本を元気にしていけるよう事業活動を推進してまいります。

主な事業として、5月20日～22日の3日間、山陰地区としては初めての全広連大会となる第69回全日本広告連盟山陰大会(主催・第69回全日本広告連盟山陰大会組織委員会、公益社団法人全日本広告連盟)が、大会テーマ

「ヤオヨロズの英知でつくる広告新話～山の陰から創造の光を～」のもと、松江市で開催されます。大会では、初めての試みとして実施する分科会などを含め多彩なプログラムで、これからの広告コミュニケーションの役割について、皆様と前向きな意見交換をまいります。オンラインでのご参加も受け付けますので、是非ご活用いただければ幸いです。

また、恒例の全広連夏期広告大学、全広連秋のシンポジウムは、各地広告協会の課題に沿うようにテーマや構成を個別に設定し全国各地で開催するとともに、全広連大会と同様にオンラインでの配信にも取り組み、全広連コンテンツの共有を目指してまいります。

国際関係では、アジア広告協会連盟(AFAA)の一員としての活動や、3月にオンラインで贈賞が行われる第24回アジア太平洋広告祭(ADFEST 2021)への協力などを行ってまいります。

全広連は今年も加盟各地37広告協会と連携しながら、皆様のご支援ご協力のもと事業に邁進してまいります。本年が、広告界ならびに会員各社様にとって新たな飛躍の年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。

広告の元気は、ニッポンの元気。

2021

# 全広連

Vol.1091

# 1

## CONTENTS

- 2 Special Report SDGsで未来を変える 地域を変える  
(川延 昌弘氏)
- 5 …… 第31回夏期広告大学  
第13回全広連シンポジウム
- 6 謹賀新年 …… 【広告界誌上年賀会】
- 12 …… CLIP BOARD

## Cover photo & Off Shot



佐賀広告協会 協力(撮影:佐賀新聞社 米倉 義房 / 鶴澤 弘樹)

新型コロナウイルス感染症の影響で、2020年は高校生アスリートの集大成となる全国高校総体(インターハイ)、全国高校野球選手権大会が中止となった。挑戦する場さえ失った高校生たちに、仲間と汗を流し、支えてくれた家族らに最後のユニフォーム姿を見せることができればと、佐賀県では県高校総体と全国高校野球選手権佐賀大会の代替大会として、「SAGA2020 SSP杯 佐賀県高等学校スポーツ大会」を開催した。

大会は20年6月中旬からの約2ヶ月間、31競技33種目に約8千人の高校生が参加し熱戦を繰り広げた。スローガンは「これからの人生のチャレンジにエールを」。選手たちは、一度は諦めかけた舞台上で大いに躍動し、スポーツをする喜び、大会に出場できることへの感謝を胸に、それぞれの未来に歩き出した。

## SDGsで未来を変える 地域を変える



**川廷 昌弘** (かわてい まさひろ)  
 藤博報堂DYホールディングス  
 グループ広報・IR室CSRグループ推進担当部長  
 1963年兵庫県芦屋市生まれ。1986年博報堂入社。1998年テレビ番組「情熱大陸」などの立ち上げに関わる。2005年から地球温暖化防止国民運動「チーム・マイナス6%」でメディアコンテンツを統括。現在はCSRグループ推進担当部長でSDGsを推進。神奈川県非常勤顧問(SDGs推進担当)やグローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパンSDGsタスクフォース・リーダーなど委嘱多数。公益社団法人日本写真家協会会員の写真家でもあり写真集『一年後の桜』(蒼穹舎)など出版。

「持続可能な開発目標」を意味するSDGsの存在感が年を追うごとに増している。地域社会を担う中小企業やメディア、自治体にとってSDGsはどのような意味を持つのか? 『未来をつくる道具 わたしたちのSDGs』の著者である川廷昌弘さんにお話を伺った。



『未来をつくる道具 わたしたちのSDGs』  
 ナツメ社

### 年々広がる日本のSDGs

**—今、SDGsというワードを目や耳にしない日はありません。**

欧米では2000年頃からすでに、ESG投資など持続可能性(サステナビリティ)をテーマにした経済活動がアクティブに動いていました。日本の経済界がESGを意識し始めたのは2015年のSDGs採択がきっかけとなりました。時期を同じくして日本の年金積立管理運用独立行政法人(GPIF)が国連の責任投資原則(PRI)に署名をしたことが大きかった。世界最大の機関投資家と言われるGPIFですが、本気で「中長期で経営を頑張っ

ている企業を応援しよう」「投資という仕組みを使って社会を変えていこう」と投資家に呼びかけたのです。同時に企業経営者に対しては、なかなか数量化できなかった社会的、環境的インパクトについてSDGsを使ってストーリーテリングをしてくださいというメッセージも発しました。

**—川廷さんは広告人として地球環境問題に長く関わってきました。**

2005年に「チーム・マイナス6%」という地球温暖化防止国民運動の仕事に携わったことが、私の起点になりました。そこで環境問題に対する人々の行動に変化を促すことを求められたのです。しかし「みんなで減らそう! CO<sub>2</sub>」という呼びかけで世の中が動くとは思いませんでした。メッセージを受け取った人が行動を起こすことが広告の本当の役割です。そんな私のモヤモヤを一掃してくれたのが「クールビズ」でした。ネクタイを外して冷房の温度を上げる。CO<sub>2</sub>削減をファッションという切り口にするので行動変容を起こすことに成功したのです。クールビズは、ライフスタイルまで変えてしまう大きな価値転換でした。それ以降、大きな課題に対してライフスタイルをシフトさせることが広告に携わる自分の宿題だと感じてきました。

未来の世代に社会をつなぐためには、気候変動、

生物多様性、森林破壊などの問題を共有して取り組まなければいけない、そんな問題意識を私はずっと抱いてきました。多岐にわたるテーマを個別に対応するのではなく、一つの“傘”の下でまとめることの必要性にも気づいていました。しかしそこからなかなか先に進めませんでした。そんな時、2012年の「国連持続可能な開発会議(リオ+20)」で、大きな枠組みを作ろうという議論が始まったことを聞きつけます。連関性が見えるようにゴール設定をするべきだということです。そこで“傘”になるSDGsと初めて出会ったのです。「これを使えばいいんだ!」と飛びつきました。

**—日本でのSDGsの広がりをどんな時に感じますか?**

SDGsを広報する一員として活動するうちに、様々な地方から講演をして欲しいという声がかかるようになりました。2017年は30件ほどだったものが、2018年は60件、去年は90件もの依頼をいただきました。関心のあり方を参加者に尋ねると「SDGsが騒がれているのでいろんな方の講演を聞きにいくのだが、結局わからずじまい。でも川廷さんの話は腹落ちする」とおっしゃってくれます。私が講演で強調するのは「自分ごととしてのSDGs」です。皆さんの思いはビジネスツールとしてではなく、SDGsの本質を知りたいということだったのです。



2018年12月「デザイン思考でSDGsに挑む」を博報堂DYホールディングスが主催

### 地域企業はSDGsの本質を理解している

**—地域の中小企業経営者はSDGsをどう理解しているのでしょうか。**

神奈川県SDGs推進担当顧問をお引き受けしている関係で、県内の中小企業経営者と話す機会があります。「うちは障害者雇用に力を入れています。SDGsとは何



国連広報センターのSDGsアイコンの日本語化は博報堂が協力

が違うんですか?」と尋ねられました。私は「本質的にはSDGsと違います。しかし未来への目標値が設定されていません。そこに違いがあるのです」と答えました。SDGsの「G」はゴールです。中小企業の皆さんは地域に必要な課題は誰よりもわかっています。地域で活動しているがゆえにステイクホルダーの顔も見えています。自分たちの社会的影響、環境の影響も理解されています。経営者自身が会社の理念を自分ごととして抱えています。そこに未来図を加えていただきたいのです。「2030年にこんな社会にしたい」というゴールです。そこからバックキャストする。「未来のあるべき姿」から解決策を見つけようというのがSDGsの考え方です。2030年にどんな社会にしたいか今の仕事をしているのか?それをしっかりと説明できればそれがSDGsになるのです。10年後のことはわからないかもしれませんが、しかしそこをあえて言葉やメッセージで表現することで、現在も整理することができると思うのです。

**—SDGsと地域を考える時、自治体は重要な位置を占めます。**

政府は2017年に国家戦略として「SDGs実施指針」を策定しました。アクションプランとして「ビジネスによるイノベーション」「地方創生」「若者、ジェンダー」という三本柱をたて、2024年までに6割の自治体がSDGs達成に向けて行動を起こしていることを目標に据えています。地方創生では、SDGs未来都市や自治体SDGsモデル事業の選定に加えて、SDGs金融という、地方の企業を応援するための金融システムを考える委員会も構成されました。さらに官民連携のマッチングをするためのプラットフォームも作っています。SDGsの達成のために自治体だけではできないことを、官民で対話して欲しいと考え

ているのです。格差のない社会にする、高齢者の対策をする、インフラの整備――自治体の仕事そのものが全部SDGsと言えます。しかし自治体だけの財源では難しい場合が多々あります。それを民間事業者が自らのビジネスとしてサポートすることで解決していく。自治体と民間が協力し合うことで日本のSDGsは達成されると私は考えています。

## SDGsの発信、地域メディアが大きな役割

### ―若い世代がSDGsについて語る場面をよく見かけます。

小学校は2020年度、中学校は2021年度から、新学習指導要領に「持続可能な社会の創り手の育成」が明記されました。義務教育にSDGsの項目が入ったことには大きな意味があります。今やSDGsは子どもには標準装備なのです。義務教育を支えるということは、コミュニティがそれを応援するということでもあります。先生ひとりに負担させるのではなくて、まわりや学校区、地域全体でSDGsを「世の中ごと」にしていくことが求められています。

### ―SDGsを発信するための大きな存在が

#### 地域のメディアです。

「SDGメディア・コンパクト」という枠組みがあります。全世界で約100メディアが参加していて、日本はその1/3である32社（12月1日現在）がメンバーになっています。もちろんSDGsの推進を担っているわけですが、地域の課題を掘り起こし未来へ投げかけることは本来、メディアのミッションです。だから全く新しい業務が増えるわけではありません。例えば、地域課題が「海の豊かさを守ろう」だとしましょう。その場合は「それはSDGsの14番のゴールである」ということを伝える。地域の課題をSDGsとして記事化することは、メディアの価値も上げることにつながるはず。学校の教材になることもあるでしょう。SDGsに取り組む企業の広告を得ることにもなるでしょう。地域の課題を伝える道具としてSDGsを使うという考え方です。

## SDGsを「道具」として使いこなす

### ―コロナ禍でSDGsが果たす役割があるとしたら何でしょうか？

グテーレス国連事務総長は、コロナによってSDGsの達成は遠のいたと語りました。しかし、コロナを乗り越えるためのヒントとしてSDGsを改めて読んでほしいと言っています。SDGsに書かれていることは地域の弱点とも言えます。それらを改善していくことが地域、ひいては世界の危機に対応する準備になるのだと思います。

危機が訪れる度にそこには新たなエネルギーが生まれます。医療機関の医師や看護師たちは、ヒーローやヒロインとして私たちに勇気を与えてくれていますよね。企業もワクチンをものすごい勢いで開発しています。そこではイノベーションが起こっています。気候変動問題では全世界にアクションを起こす高校生の輪が広がっています。そんなエネルギーを良い方向に回していくことを、今回のパンデミックで私たちは学びつつあります。

### ―SDGsを「未来をつくる道具」と表現していますね。

未来は放っておいても勝手に来ます。しかし今のままでは大人が享受していたものを子どもや孫に与えられないかもしれません。これは放っておけないですよね。少なくとも今と同じ未来、さらに今より良い未来を展望していきたい。SDGsはコミュニケーションツールであると私は繰り返し語ってきました。道具は置いたままだとただのモノですが、人が意識して使えばその価値を発揮します。主体性がなければ道具は道具の役割を果たさないですよ。SDGsのバッジをつけただけで満足してしまえば、薄っぺらな飾りで終わってしまいます。そうならないためにSDGsを使いこなして欲しいのです。

SDGsは「サステナブル」「デベロップメント」「ゴール」の略称です。サステナブルは未来に続く幸せな社会、ゴールは2030年にあるべき世界や自分です。ではデベロップメントとは何でしょうか？デベロッパーなど都市開発といった産業的なイメージが浮かぶかもしれませんが。しかしここで言っているのは「ヒューマン・デベロップメント」、つまり「人間開発」だと私は考えています。誰もが格差なく可能性を発揮できる、安心して安全な家庭や地域や国の仕組みを作ることがSDGsの本当の意味でのゴール。だからこそ自分ごととしてSDGsをとらえていきましょう。個人の願いと社会の思いが一致する場所にSDGsはきっとあると私は信じています。

（インタビュー・文 加藤陽之）

## 公益財団法人 吉田秀雄記念事業財団 協賛

第31回  
(令和2年度)

## 夏期広告大学

第13回  
(令和2年度)

## 全広連シンポジウム

両事業が開催され、本年は松山、秋田講座のアーカイブ配信も行った。詳細等は3月号にて紹介予定。

### 講演テーマ及び講師(敬称略)

11月4日13:30~16:00 ANAクラウンプラザホテル松山

#### ■松山講座「デジタルシフトと地域コンテンツのこれから」

- 第1講 「信頼と収益につながるDX ~メディアと広告は誰の役に立つのか~」  
古田大輔 (株)メディアコラボ代表、「BuzzFeed Japan」元創刊編集長
- 第2講 「ローカル発Webメディアのビジネス化 ~Qualities創設の試みから~」  
日野昌暢 (株)博報堂ケトルプロデューサー、「Qualities」編集長
- トークセッション「「デジタルシフト」をチャンスに変える ~愛媛から世界へのチャレンジ~」  
古田大輔、日野昌暢、植松洋平 (株)Market Driveプログラミングスクール事業部代表、  
上田沙耶 (伊予市地域おこし協力隊 青山学院大学4年)

11月16日13:30~16:45 コングレコンベンションセンター

#### ■大阪講座「関西未来ビジョン2020 ~関西活性化の鍵~」 大阪広告協会・全日本広告連盟共催シンポジウム

- 基調講演「関西活性の鍵はデータサイエンス」 宮田裕章 (慶応義塾大学教授)
- パネルディスカッション  
宮田裕章、船橋俊一 (株)大林組 建築事業部、  
寺尾光洋 (朝日放送テレビ(株) 営業局セールスソリューション2部)、  
阪上恵理 (ヤフー(株)SR推進統括本部データ・ディレクター)、朱喜哲 (株)電通ソリューションデザイン局)

12月3日15:30~17:10 新潟日報メディアシップ2階 日報ホール

#### ■新潟講座「新型ウィルス禍の今こそ、デザイン経営を」

- 第1部 永井一史 (株)HAKUHODO DESIGN 代表取締役社長)
- 第2部 鷲田祐一 (一橋大学教授)
- トークセッション「地方におけるデザイン経営の実践法」  
永井一史、鷲田祐一、石川竜太 (株)フレーム代表)

12月9日13:30~15:10 イヤタカ

#### ■秋田講座「クリエイティブの拡張について ~地域発イノベーションの可能性を拓く~」

- 第1部 「デジタルによるクリエイティブの拡張」  
佐々木康晴 (株)電通CR計画推進センター長 デジタル・クリエイティブ・センター長)
- 第2部 「地域発のビジネスが未来の社会をつくる」  
岩寄博論 (株)博報堂ミライの事業室 ビジネスデザインディレクター)
- トークセッション「やさいパスや他のケースから、今後の地域イノベーションの可能性や発展を占う」  
佐々木康晴、岩寄博論

# 謹賀新年

【 広告界誌上年賀会 】

〈順不同〉

<p>理事長 <b>大平 明</b> 公益社団法人 全日本広告連盟 公益社団法人 東京広告協会</p>	<p>会長 <b>岩田 圭剛</b> 全北海道広告協会 札幌商工会議所 会頭</p>	<p>理事長 <b>広瀬 兼三</b> 全北海道広告協会 ㈱北海道新聞社代表取締役社長</p>
<p>理事長 <b>塩越 隆雄</b> 青森広告協会 ㈱東奥日報社代表取締役</p>	<p>会長 <b>東根 千万億</b> 岩手広告協会 ㈱岩手日報社代表取締役社長</p>	<p>会長 <b>藤崎 三郎助</b> 仙台広告協会 ㈱藤崎代表取締役社長</p>
<p>会長 <b>佐川 博之</b> 秋田広告協会 ㈱秋田魁新報社代表取締役社長</p>	<p>会長 <b>寒河江 浩二</b> 山形広告協会 ㈱山形新聞社代表取締役社長</p>	<p>会長兼理事長 <b>高橋 雅行</b> 福島広告協会 ㈱福島民報社相談役</p>
<p>理事長 <b>大澤 克之助</b> 千葉広告協会 ㈱千葉日報社代表取締役社長</p>	<p>会長 <b>並木 裕之</b> 横浜広告協会 ㈱神奈川新聞社代表取締役社長</p>	<p>会長 <b>福田 勝之</b> 新潟広告協会 新潟商工会議所 会頭</p>
<p>会長 <b>北村 正博</b> 一般社団法人 長野県広告協会 一般社団法人 長野県商工会議所連合会 会長</p>	<p>理事長 <b>小松 佳浩</b> 一般社団法人 長野県広告協会 信濃毎日新聞社広告局長・役員待遇</p>	<p>会長 <b>野口 英一</b> 山梨広告協会 ㈱山梨日日新聞社 会長兼社長 ㈱山梨新放送社 社長</p>
<p>会長 <b>高木 繁雄</b> 富山広告協会 富山県商工会議所連合会 会長</p>	<p>理事長 <b>駒澤 信雄</b> 富山広告協会 ㈱北日本新聞社代表取締役社長</p>	<p>会長 <b>砂塚 隆広</b> 金沢広告協会 ㈱北國新聞社専務取締役</p>
<p>理事長 <b>吉田 真士</b> 福井広告協会 ㈱福井新聞社代表取締役社長</p>	<p>会長 <b>杉山 幹夫</b> 岐阜県広告協会 ㈱岐阜新聞社最高顧問</p>	

<p>会長 <b>大石 剛</b> 静岡県広告協会 ㈱静岡新聞社代表取締役社長 静岡放送(株)取締役社長</p>	<p>会長 <b>山本 亜土</b> 一般社団法人 愛知広告協会 名古屋商工会議所 会頭</p>	<p>理事長 <b>田中 正樹</b> 一般社団法人 愛知広告協会 敷島製パン(株)代表取締役副社長</p>
<p>会長 <b>田中 克明</b> 京都広告協会 ㈱京都新聞COM代表取締役社長</p>	<p>理事長 <b>鈴鹿 且久</b> 京都広告協会 ㈱聖護院ハッ橋総本店代表取締役社長</p>	<p>理事長 <b>山田 邦雄</b> 公益社団法人 大阪広告協会 ロート製薬(株)代表取締役 会長</p>
<p>会長 <b>佐藤 一郎</b> 神戸広告協会 神戸地下街(株)代表取締役社長</p>	<p>会長 <b>松尾 倫男</b> 山陰広告協会</p>	<p>会長 <b>松田 正己</b> 岡山広告協会 ㈱山陽新聞社代表取締役社長</p>
<p>会長 <b>岡畠 鉄也</b> 広島県広告協会 ㈱中国新聞社代表取締役社長</p>	<p>会長 <b>米田 豊彦</b> 徳島県広告協会 一般社団法人 徳島新聞社 理事 社長</p>	<p>会長 <b>泉 雅文</b> 香川県広告協会 高松商工会議所 会頭</p>
<p>会長 <b>大塚 岩男</b> 愛媛県広告協会</p>	<p>会長 <b>青木 章泰</b> 高知県広告協会 高知商工会議所 会頭</p>	<p>会長 <b>川崎 隆生</b> 福岡県広告協会 ㈱西日本新聞社 相談役</p>
<p>会長 <b>村岡 安廣</b> 佐賀県広告協会 ㈱村岡総本舗代表取締役社長</p>	<p>会長 <b>徳永 英彦</b> 長崎県広告協会 ㈱長崎新聞社代表取締役社長</p>	<p>会長 <b>副島 隆</b> 熊本県広告協会 ㈱お菓子の香梅代表取締役 会長</p>
<p>会長 <b>池辺 克城</b> 大分県広告協会 ㈱トキハ代表取締役社長</p>	<p>会長 <b>米良 充典</b> 宮崎県広告協会 宮崎商工会議所 会頭</p>	<p>会長 <b>本坊 修</b> 鹿児島県広告協会 本坊酒造(株)取締役 会長</p>
<p>会長 <b>石嶺 伝一郎</b> 沖縄県広告協会 那覇商工会議所 会頭</p>	<p>代表取締役社長 <b>西井 孝明</b> 味の素株式会社</p>	<p>代表取締役社長 <b>船越 秀彦</b> 株式会社 角 弘</p>

代表取締役社長 <b>川村 宗生</b> 株式会社 川 徳	代表取締役社長 <b>布施 孝之</b> キリンビール株式会社	代表取締役社長 <b>本坊 愛一郎</b> 薩摩酒造株式会社
代表取締役社長 <b>廣岡 賢治</b> 株式会社 三田屋本店	代表取締役社長 <b>舟橋 正剛</b> シヤチハタ株式会社	代表取締役社長 <b>鈴鹿 且久</b> 株式会社 聖護院ハッ橋総本店
代表取締役社長 兼 COO 兼 CMO <b>高橋 修司</b> セイコーウオッチ株式会社	代表取締役社長 <b>吉田 勝彦</b> 第一三共ヘルスケア株式会社	代表取締役社長 <b>上原 茂</b> 大正製薬株式会社
代表取締役社長 <b>芳井 敬一</b> 大和ハウス工業株式会社	代表取締役 社長執行役員 <b>山村 輝治</b> 株式会社 ダ ス キ ン	代表取締役社長 <b>玉木 伸弥</b> タマホーム株式会社
代表取締役社長 <b>大井 太郎</b> チチャス株式会社	代表取締役社長 <b>渡辺 訓章</b> 株式会社 東 京 會 館	代表取締役社長 <b>小栗 一郎</b> NTPホールディングス株式会社 名古屋トヨペット株式会社
代表取締役社長 <b>木村 哲夫</b> 株式会社 日専連ホールディングス	代表取締役会長兼CEO <b>尾崎 英雄</b> 株式会社 フ ジ	代表取締役社長 <b>小手川 強二</b> フンドーキン醤油株式会社
代表取締役 社長執行役員 <b>西村 元延</b> 株式会社 マ ン ダ ム	代表取締役社長 <b>谷尾 一也</b> 明治屋産業株式会社	代表執行役社長 <b>田中 英成</b> 株式会社 メ ニ コ ン
吉本興業ホールディングス株式会社 本店・大阪本部 〒542-0075 大阪市中央区難波千日前11-6 東京本部 〒160-0022 東京都新宿区新宿5-18-21	執行役員 メディアビジネス担当 <b>金山 達也</b> 朝 日 新 聞 社	上席執行役員 <b>鈴木 裕一</b> 産 經 新 聞 社

専務取締役 メディアビジネス統括 <b>平田 喜裕</b> 日 本 経 済 新 聞 社	取締役 オリンピック・パラリンピック担当 営業総本部長 <b>廣田 勝已</b> 毎 日 新 聞 社	常務取締役広告局長 <b>安部 順一</b> 読 売 新 聞 東 京 本 社
取締役広告担当 <b>飯田 義典</b> 中 日 新 聞 社	代表取締役社長 <b>柴田 建哉</b> 西 日 本 新 聞 社	代表取締役社長 <b>芳見 弘一</b> 福 島 民 報 社
代表取締役社長 <b>中川 俊哉</b> 福 島 民 友 新 聞 社	代表取締役社長 <b>小田 敏三</b> 新 潟 日 報 社	代表取締役社長 <b>矢島 薫</b> 岐 阜 新 聞 社
代表取締役社長 <b>松尾 倫男</b> 山 陰 中 央 新 報 社	代表取締役社長 <b>松田 正己</b> 山 陽 新 聞 社	代表取締役社長 <b>土居 英雄</b> 愛 媛 新 聞 社
代表取締役社長 <b>武富 和彦</b> 沖 縄 タ イ ム ス 社	代表取締役社長 <b>玻名城 泰山</b> 琉 球 新 報 社	代表取締役社長 <b>高田 誠</b> 日 刊 ス ポ ー ツ 新 聞 社
代表理事 <b>萩本 直樹</b> 聖 教 新 聞 社	代表取締役会長 <b>谷口 俊二</b> 株式会社 日 本 農 業 新 聞	代表取締役社長 <b>野間 省伸</b> 株式会社 講 談 社
代表取締役社長 <b>相賀 昌宏</b> 株式会社 小 学 館	代表取締役社長 <b>中田 哲史</b> 株式会社 中央公論事業出版	代表取締役社長 <b>立田 聡</b> 株式会社 秋 田 放 送
代表取締役社長 <b>稲田 一郎</b> 株式会社 エ フ エ ム 福 島	代表取締役社長 <b>石川 一郎</b> 株式会社 テ レ ビ 東 京	代表取締役社長 <b>伊達 寛</b> 東京メトロポリタンテレビジョン株式会社

代表取締役社長 <b>中山 良夫</b> 株式会社 B S 日 本	代表取締役社長 <b>角南 源五</b> 株式会社 B S 朝 日	代表取締役社長 <b>相子 宏之</b> 株式会社 B S - T B S
代表取締役社長 <b>田村 明彦</b> 株式会社 B S テレ ビ 東 京	代表取締役社長 <b>亀山 千広</b> 株式会社 ビーエスフジ	代表取締役社長 <b>池内 昭彦</b> 福井放送株式会社
代表取締役社長 <b>平城 隆司</b> 株式会社 静岡朝日テレビ	代表取締役社長 <b>寺井 幸嗣</b> 株式会社 C B C ラジ オ	代表取締役会長 <b>真鍋 和彦</b> 日本海テレビジョン放送株式会社
代表取締役社長・CEO <b>浅井 幹夫</b> 株式会社 ちゅピCOM	代表取締役社長 <b>鈴木 克明</b> 株式会社 テレビ西日本	代表取締役社長 <b>壹岐 正</b> 長崎文化放送株式会社
代表取締役 社長執行役員 <b>上田 周</b> 株式会社 朝日広告社	代表取締役社長 <b>野村 勝則</b> 株式会社 インターワールド	代表取締役社長 グループCEO <b>植野 伸一</b> 株式会社 ADKホールディングス
代表取締役社長 <b>福井 英樹</b> S C アドクロス株式会社	代表取締役社長 <b>大塚 尚司</b> 株式会社 オリコム	代表取締役社長 <b>石山 陽一</b> 株式会社 京橋エージェンシー
取締役社長 <b>上野 賢了</b> 株式会社 京急アドエンタープライズ	代表取締役社長 <b>植木 誠</b> 株式会社 シセイ堂デザイン	代表取締役社長 <b>野中 雅志</b> 株式会社 JR西日本コミュニケーションズ
代表取締役社長 <b>原口 宰</b> 株式会社 ジェイアール東日本企画	代表取締役社長 <b>樋口 荘一郎</b> 株式会社 新 通	代表取締役会長兼社長 <b>谷 喜久郎</b> 株式会社 新 東 通 信

代表取締役社長 <b>落合 寛司</b> 株式会社 大 広	代表取締役社長兼CEO <b>今井 明彦</b> 株式会社 TBWA\HAKUHODO	代表取締役社長執行役員 <b>山本 敏博</b> 株式会社 電 通 グループ
代表取締役社長執行役員 <b>寺尾 芳紀</b> 株式会社 電 通 東 日 本	代表取締役社長 <b>鈴木 利幸</b> 株式会社 電通マクロミルインサイト	代表取締役 社長執行役員 <b>澁谷 尚幸</b> 株式会社 東急エージェンシー
代表取締役社長 <b>鐘ヶ江 弘章</b> 株式会社 とうこう・あい	代表取締役 <b>内藤 好之</b> 株式会社 内藤一水社	代表取締役 <b>長田 一郎</b> 長田広告株式会社
代表取締役会長 <b>丹羽 信一</b> 株式会社 日本経済広告社	代表取締役社長 <b>富田 賢</b> 株式会社 日本経済社	代表取締役会長 <b>戸田 裕一</b> 株式会社 博報堂DYホールディングス
代表取締役社長 <b>水島 正幸</b> 株式会社 博 報 堂	代表取締役社長 <b>矢嶋 弘毅</b> 株式会社 博報堂DYメディアパートナーズ	代表取締役社長 <b>岸 直彦</b> 株式会社 博報堂プロダクツ
代表取締役社長 <b>稲川 一</b> 株式会社 文 宣	代表取締役社長 <b>肥後 謙一</b> 株式会社 メトロアドエージェンシー	代表取締役社長 <b>藤沼 大輔</b> 株式会社 読 売 広 告 社
代表取締役社長 <b>古市 優子</b> アドテック東京	代表取締役 <b>小佐野 保</b> 株式会社 ギークピクチャーズ	代表取締役社長執行役員 <b>松原 靖広</b> 株式会社 電 通 テ ッ ク
株式会社 東北新社 〒107-8460 東京都港区赤坂4-8-10	代表取締役社長 <b>磨 秀晴</b> 凸版印刷株式会社	代表取締役 <b>瀧尻 雄也</b> 有限会社 パリティクラブ



## TOPICS

### 第114回全国事務局長会議 WEB上で開催

令和2年11月24日、WEB会議にて第114回全広連全国事務局長会議を開催した。山陰広告協会の尾添大介事務局長から全広連山陰大会の準備状況と概要の説明があったほか、全広連事業活動の報告、連絡、要請及び今後についての協議等を行った。

## INFORMATION

### 第24回アジア太平洋広告祭(ADFEST 2021)

#### 実開催を中止し、贈賞式はオンライン公開

ADFEST 2021は、長引く新型コロナウイルスの影響により、来春3月のタイ・パタヤでのフェスティバル開催を中止する発表を行いました。Young Lotus Workshopの開催見送りも決定されました。ADFEST 2021とまだ発表されていないADFEST 2020の贈賞セレモニーは、下記の通り共にオンラインで行われます。

【ADFEST 2020 オンライン贈賞セレモニー】2021年2月15日(月) 日本時間20:00~

【ADFEST 2021 オンライン贈賞セレモニー】日程調整中

### 全広連の活動(令和3年1月~令和3年3月)

- 活動予定 3月1日 令和2年度度第4回8ブロック会議(Web会議)
- 未定 令和2年度度第5回理事会(開催方式検討中)
- 3月下旬 第15回「全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞」選考委員会(開催方式検討)

### 加盟各地広告協会 人事 [順不同・敬称略]

#### 事務局長就任

- 【山陰広告協会】 尾添大介(山陰中央新報社ビジネスプロデュース局次長) 11月10日付
- 【大阪広告協会】 松永達也(公益社団法人大阪広告協会事務局長) 1月1日付

### 加盟各地広告協会 新入会員社紹介 [順不同・敬称略]

#### 【新潟広告協会】(4社 5名)

- (株)ディモルギア  
代表取締役社長 長沼茂夫
- (株)エフプラス  
専務取締役 永戸弘明  
執行役員営業部長 渡辺優一

- オンド(株)  
代表取締役 吉原彰大

- HASHIGO DESIGN  
代表 高橋栄一

#### 【静岡県広告協会】(1社 2名)

- (株)黎明社  
常務取締役 影島卓也  
統括本部長 手塚浩之

#### 【京都広告協会】(1社 2名)

- 佐川印刷(株)  
取締役常務執行役員 渡辺秀樹  
企画制作部部長 細田光範

【お願い】人事異動などによる会員の交代や役職の変更等が生じ、機関誌「全広連」の発送先が変更になった場合は所属広告協会事務局へご連絡をお願いします。

### 公益社団法人 全日本広告連盟 加盟37広告協会

全広連は、下記37広告協会の会員の皆様にお送りしています。

- |          |        |         |        |         |        |        |        |         |        |
|----------|--------|---------|--------|---------|--------|--------|--------|---------|--------|
| 全北海道広告協会 | 秋田広告協会 | 東京広告協会  | 山梨広告協会 | 岐阜広告協会  | 大阪広告協会 | 広島広告協会 | 高知広告協会 | 熊本広告協会  | 沖縄広告協会 |
| 青森広告協会   | 山形広告協会 | 横浜広告協会  | 富山広告協会 | 静岡県広告協会 | 神戸広告協会 | 徳島広告協会 | 福岡広告協会 | 大分広告協会  |        |
| 岩手広告協会   | 福島広告協会 | 新潟広告協会  | 金沢広告協会 | 愛知広告協会  | 山陰広告協会 | 香川広告協会 | 佐賀広告協会 | 宮崎広告協会  |        |
| 仙台広告協会   | 千葉広告協会 | 長野県広告協会 | 福井広告協会 | 京都広告協会  | 岡山広告協会 | 愛媛広告協会 | 長崎広告協会 | 鹿児島広告協会 |        |

全広連の活動について詳しくはウェブサイトから ▶ [www.ad-zenkoren.org](http://www.ad-zenkoren.org)